

施策番号	1201		
施策名	世界中のひとびとを引き寄せる京都の魅力の向上と発信		
概要	景観、観光、文化、環境等、京都がもつ魅力を向上させ、世界各国に効果的な情報発信を行うとともに、海外からの訪問者が快適に行動できるよう受入環境の充実を図り、世界中のひとびとを引き寄せるまちとする。		
担当局・部室	総合企画局・国際化推進室	共管局・部室	産業観光局・観光MICE推進室
上位政策	12 国際化		
施策に関する主な分野別計画等	京都市国際化推進プラン，京都観光振興計画2020，京都市MICE戦略2020		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	25年度	26年度	27年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト	
1 コンベンション参加者数(人)	a	d	96,020	128,173	114,257	112.2%	a	1.00	
2 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	d	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	27年度回答						有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1 京都には、世界から観光、留学、ビジネス等を目的として訪れるひとびとを引き寄せる魅力と、受入環境がある。	132	253	76	30	20	511	a	
	25.8%	49.5%	14.9%	5.9%	3.9%			
2 京都は、文化資産の継承、環境にやさしい取組などを通して、平和都市として国際社会に貢献している。	110	222	128	29	18	507	b	
	21.7%	43.8%	25.2%	5.7%	3.6%			
3 -							-	
4 -							-	
5 -							-	
		市民生活実感調査総合評価						a

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている					26年度	B
	重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	a	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	a		
(重み付けの理由) 世界への京都の魅力発信に対する評価は、市民の意識が重視されるべきであると考えため、また、京都の魅力は多岐にわたるものであり、客観指標総合評価では全ての分野が網羅できないため、市民生活実感調査総合評価を重視する。						25年度	B
(原因分析) 【客観指標】コンベンション参加者数については、誘致スタッフの強化や、広報ツールの拡充、大学関係者への積極的な支援や働きかけにより、d→a評価に改善した。 【市民の実感】昨年度に引き続きa評価となった。これは、文化遺産や大学の集積といった京都の強みや魅力が市民に認識されている結果によると考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		27年度事務事業評価結果における目標達成度評価	担当局
		26年度決算額	27年度予算額		
1	京都文化交流発信事業の推進	7,253	9,942	悪い	総合企画局
2	2014年青島世界園芸博覧会における京都の魅力発信事業	18,313	-	-	総合企画局
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- コンベンション参加者数を更に増加させるため、引き続き、海外からの賓客に対する京都の魅力の発信に取り組むとともに、京都の持つ多様な魅力の一層の向上を図る。そのために、庁内の関係部局が連携を密にし、市民が外国の文化に触れる機会を充実させ、「おもてなしの心」の向上を図るなど、受入環境の充実に努める。
- 京都の魅力を発信するDVD(14言語に対応)について、海外との交流団体や大学、海外からの賓客等に提供し、様々な機会を通して京都の魅力のPRを図る。

施策名	1201	世界中のひとびとを引き寄せる京都の魅力の向上と発信				
指標名	コンベンション参加者数（人）					
担当課	観光MICE推進室	連絡先	746-2255			
1 指標の説明						
1年間に京都市域内で開催された会議で、日本を含め3箇国以上から総勢50名以上の参加のあった国際会議に参加した人数						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
経済、文化、国際交流等の様々な分野への波及効果を伴う国際MICE都市の実現に向けた進捗状況を示す指標			出典：京都文化交流コンベンションビューロー「京都で4開催の国際会議」、日本政府観光局（JNTO）「国際会議統計」			
4 数値						
	前回数値 25年	最新数値 26年	推移	目標値		
数値	96,020	128,173	32,153人増	数値 114,257	根拠 過去5年間の最高値	
					達成度 112.2%	
	全国順位	中長期目標			備考 数値の公表時期の関係により、評価は暫定値で行う。前回数値については実数に修正している。	
		数値	目標年次	達成度		
数値				根拠		
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果	
最新の数値が過去5年間の a：最高値以上 b：上中間値（最高値と平均値の中間値）以上～最高値未満 c：平均値以上～上中間値未満 d：下中間値（平均値と最低値の中間値）以上～平均値未満 e：下中間値未満			各年度の具体的な数値目標の設定が困難であるため、過去5年間の数値の推移で評価する。 最高値 114,257人（平成24年） 平均値 101,932人 最低値 84,391人（平成23年）		25 26 27 a d a	